

空気より軽い12A、13Aガス用

OSAKA GAS

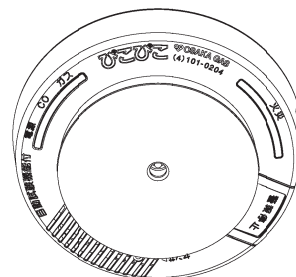
住宅用火災（熱式）・
ガス・CO 警報器

家庭用

びこびこ®

型番 (4)101-0204型
YP-768型

取扱説明書 保証書付



一般財団法人 日本ガス機器検査協会検査合格品
日本消防検定協会鑑定合格品

- 住宅用火災（熱式）・ガス・CO警報器「びこびこ」をお取り付けいただきありがとうございました。
- この取扱説明書は住宅用火災（熱式）・ガス・CO警報器「びこびこ」の取扱方法を説明します。
- お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みいただき、内容をご理解した上で取り扱ってください。
- 本取扱説明書は、末頁に保証書がついています。取扱説明書はお手元に保管し、いつでもご覧いただけるようにしておいてください。

● 本書を紛失され、内容に不明な点があった場合は、販売店（リース取扱店）または最寄りの大阪ガスにお問い合わせください。

● 本警報器は、炎等の熱を感知して警報を発するものです。火災の発生を未然に防止する装置ではなく、また、火災による損害を防止することを保障するものではありません。火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

● 本警報器は、ガスやCOを検出して警報を発するものです。ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではなく、また、ガスもれやCOによる損害を防止することを保障するものではありません。ガスもれやCOなどによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。

● 本警報器は炎等の熱を感知して警報を発するものです。換気扇等により熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しない場合は、火災警報機能が動きません。

● 本警報器は、ガスやCOを検出して警報を発するものです。ガス検知部にガスやCOが到達しない場合は、ガス警報機能やCO警報機能が動きません。

警報器の機能について

■ ガス警報機能・CO警報機能

警報器周囲のガスやCOが規定濃度以上になると、それを検知して、注意報または警報を発します。



《お断わり》

- ガス検知部にガスやCOが到達しないときは、警報機能が働きません。
- ガスもれや不完全燃焼によるCOの発生を未然に防止する装置ではありません。
ガスもれやCO発生などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 取付場所近くでのガスもれやCO発生には警報を発しますが、他の部屋で発生したガスやCOには警報を発しないことがあります。

■ 火災警報機能

火災などにより、警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると、それを感知して警報を発します。



《お断わり》

- 換気扇などにより熱気が吸引され、熱感知部の温度が上昇しないときは、警報機能が働きません。
- 火災の発生を未然に防止する装置ではありません。
火災などによる損害については、責任を負いかねますのでご了承ください。
- 警報器を取り付けていない部屋は、火災の監視ができません。

もくじ

はじめに



安全上のご注意	1
対象ガス	4
各部のなまえとはたらき	5
警報器のお知らせ機能について	7
使用方法	9

警報器が 作動したら



1 「ウーウー ヒーヒー」火災警報器が作動しました 確認してください と鳴ったときの処置のしかた	10
2 メロディー音が鳴っているときの処置のしかた	11
3 「ウーウー ヒッヒッヒッヒッ」ガスがもれていませんが と鳴ったときの処置のしかた	11
4 CO 警報ランプ（黄）が点滅しているときの処置のしかた	13
5 「ウーウー ヒッポッヒッポッ」空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください と鳴ったときの処置のしかた	13
6 「ウーウー ヒッヒッヒッヒッ」ガスがもれていませんが と 「ウーウー ヒッポッヒッポッ」空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください が交互に鳴ったときの処置のしかた	15
7 異常がないのにメロディー音や警報音が鳴ったり、 ランプが点滅したときの処置のしかた	17
ランプ表示・音声出力の事象一覧表	19

取り扱い かた



お手入れのしかた	20
警報器の取り外し・取り付けかた	21
噴霧式殺虫剤を使用するときは	22
点検方法について	25

その他



故障がな?と思ったら	26
アフターサービスについて	27
登録	27
仕様	28

取付位置の確認	29
---------	----



安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みいただき、お客さまや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

注意事項は、誤った取り扱いによる危害や損害の程度を、以下の表示で区分しています。

△危険

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じる場合が想定される」内容を示します。

△警告

誤った取り扱いをすると「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示します。

△注意

誤った取り扱いをすると「傷害を負う可能性及び物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容を示します。

絵表示の内容



「必ず行う」事項を示しています。



「火気厳禁」事項を示しています。



「ぬれ手禁止」事項を示しています。



「水ぬれ禁止」事項を示しています。



「接触禁止」事項を示しています。



「分解禁止」事項を示しています。



「一般的な禁止」事項を示しています。

△危険

ガス警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。

爆発の恐れがあります。



必ず行う

ガス警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



火気厳禁

マッチやライターなど、火気を使わないでください。



禁止

換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しないでください。



禁止

警報器を取り外さないでください。



禁止

部屋の外から、すぐに入室しないでください。



CO警報音もしくは火災警報音が鳴ったら、以下の内容を必ず守ってください。

CO濃度が上昇し、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。また、火災により生命に危険が生じる恐れがあります。



必ず行う

CO警報音が鳴っている部屋にいるときは、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止めてください。



必ず行う

火災警報音が鳴り、消火が不可能なときは、避難してください。



禁止

部屋の外にいるときは、すぐに入室しないでください。



△警告



必ず行う

常に電源が入っていること(電源ランプ(緑)点灯)を確認してください。

電源が入っていないと火災、ガスもれ、COが発生しても、警報を発しません。



必ず行う

設置後、5年(有効期限)を過ぎた警報器は、新しい警報器と取り替えてください。

正常に作動しない恐れがあります。有効期限は、警報器本体に貼り付けされている有効期限ラベルに示しています。



必ず行う

噴霧式殺虫剤を使用するときは、以下の内容を必ず守ってください。(P22~24参照)

- 警報器をポリ袋などで覆う。
- 噴霧が終わったら、換気した後、ポリ袋を取り除く。

誤作動の原因となります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で警報器の取り付け、取り外しをしないでください。

感電する恐れがあります。



水ぬれ禁止

警報器を水につけたり、水をかけたりしないでください。

ショートや感電の恐れがあります。



安全上のご注意

⚠ 警告



接触禁止

警報器中央部の熱感知部には触らないでください。
火災を感知しなくなる恐れがあります。



分解禁止

分解や改造はしないでください。
故障の原因となります。



禁止

衝撃を与えないでください。
故障の原因となります。



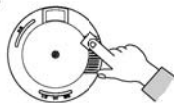
禁止

警報器をお手入れするとき以外は、
警報器を取り外さないでください。
火災、ガスもれ、COが発生しても、
警報を発しません。



禁止

ガス検知部は絶対にふさがないでください。
ガスもれまたはCOを検知しなくなります。



禁止

煙感知式住宅用火災警報器に用いられる点検ガスを噴霧しないでください。
点検ガスにフロンが含まれている場合、ガスセンサの故障の原因となります。

⚠ 注意



必ず行う

警報器をお手入れするときは、必ず
警報器を取り外してください。
感電やナガの原因となります。



必ず行う

警報器の取り外し・取り付け・点検を行うときや、警報器をポリ袋で覆うときは、安定した踏み台を使い、十分注意してください。
転落・転倒・落下によるけがの恐れがあります。



禁止

取付位置を移動させないでください。
警報の遅れの原因となります。
取付位置を変える必要が生じたときは、販売店にご相談ください。



禁止

警報器の前に物を置いたり、取り付けたりしないでください。
警報の遅れの原因となります。



禁止

警報器の近くでラジオなどを使用しないでください。
ラジオなどにノイズ（雑音）が入ることがあります。警報器から距離を離してお使いください。



禁止

この商品は日本消防検定協会の認定品ですが、消防法で定められた自動火災報知設備には該当いたしませんので、それらの用途には使用できません。



対象ガス

⚠ 注意

●この警報器は火災（火災などによる熱）、都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）及び燃焼排ガス中のCOを検知します。

●都市ガス（空気より軽い12A・13Aガス）供給区域外ではお使いにならないでください。



各部のなまえとはたらき

●有効期限ラベル

●ガス検知部

ガス及びCOを検知します。

●ガス検知部点検口

ガス・CO警報点検時にガス採取器によりガスライターから採取したガスを注入します。

●警報停止スイッチ

警報停止スイッチを押すことにより、警報音・故障音の停止や外部機器との連動確認などができます。
※詳細はP17・25を参照ください。

●火災警報ランプ(赤スライド)

火災による熱を感知すると火災警報ランプ(赤スライド)が点灯します。
※点灯時はP10を参照ください。

●熱感知部

熱を感知します。

●鑑定合格証票

日本消防検定協会の鑑定に合格したことを示します。

●形式認証証票

日本ガス機器検査協会の検査に合格したことを示します。

●外部出力信号端子 ⊕

信号線(プラス側)を接続します。

●外部出力信号端子 ⊖

信号線(マイナス側)を接続します。

●警報スピーカー

- ・ガス、COを検知または火災による熱を感知すると、音声合成音が鳴ります。
※詳細はP10～16を参照ください。
- ・ガス注意報時にはメロディー音が流れます。
※詳細はP11を参照ください。

●電源ランプ(緑)

- ・電源を入れてから約1分間は点滅します。(警報器の安定時間)
- ・通常は電源ランプ(緑)が点灯しています。
- ・故障しているときは高速点滅します。
※高速点滅時はP8を参照ください。

●CO警報ランプ(黄)

- ・COを検知すると点滅します。
- ・CO濃度が規定値以上になると点灯します。
※点灯時はP13・14を参照ください。

●ガス警報ランプ(赤)

- ・ガスを検知すると点滅します。
- ・ガス濃度が規定値以上になると点灯します。
※点灯時はP11・12を参照ください。

●製造番号シール

●製造ラベル

●電源端子

電源線を接続します。

●外部出力コネクターカバー

ーランプのつきかたについてー

取扱説明書中のランプの点灯、点滅、速い点滅は次のように動作します。

点灯	連続して点灯	
点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.5秒周期)	点滅周期
高速点滅	点灯と消灯の繰り返し (0.3秒周期)	点滅周期

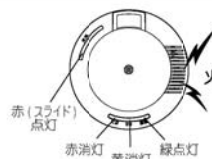


警報器のお知らせ機能について

火災警報機能

火災による熱が発生したときは

警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以上になると作動します。



ウーウー ビービー
火災警報器が作動しました
確認してください

P10参照

ガス・CO警報機能

ガスがもれたときは

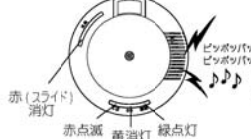
警報器周囲のガスが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。



ガス注意報

P11参照

メロディー音が
約10分毎に2回鳴る



ガス警報

P11.12参照

ウーウー ビッポッパッ
ガスがもれていません



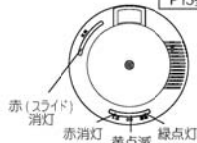
ガス機器の不完全燃焼によるCOが発生したときは

警報器周囲のCOが規定濃度以上になると作動します。
低濃度のときは注意報が作動し、高濃度になると警報が作動します。(低濃度が約5分間継続した場合も警報が作動します。)

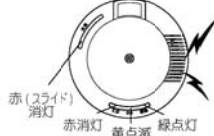


CO注意報

P13参照



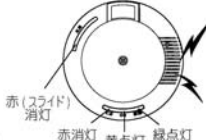
ウーウー ビッポッパッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください



CO警報

P13.14参照

ウーウー ビッポッパッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください



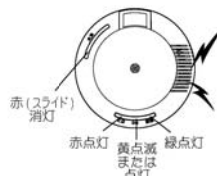
ガスのもれとガス機器の不完全燃焼によるCOが同時に発生したときは

警報器周囲のガスとCOが規定濃度以上になると作動します。

ウーウー ビッポッパッ
ガスがもれていません

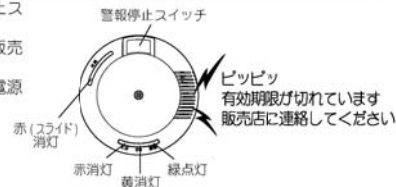
ウーウー ビッポッパッ
空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください

交互に鳴る



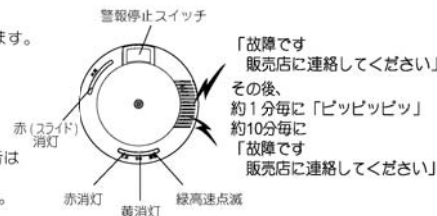
有効期限が過ぎたときは

有効期限が半年以上過ぎた場合、警報停止スイッチを5秒以上押すと、「ビッポッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。また、有効期限が半年以上過ぎた場合、電源を再投入すると、60秒後に「正常です」が鳴らずに「有効期限が切れています 販売店に連絡してください」が鳴ります。※販売店までご連絡ください。



故障しているときは

故障が発生すると、「故障です 販売店に連絡してください」が1回鳴り、電源ランプ(緑)が高速点滅します。その後は「ビッポッ」と約1分毎に繰り返し鳴り、約10分毎に「故障です 販売店に連絡してください」が鳴ります。それ以降も同じ動作を繰り返します。ただし、警報停止スイッチを押すと故障音は約36時間停止します。電源ランプ(緑)の高速点滅は止まりません。※販売店までご連絡ください。※外部機器と連動している場合、故障音停止中は外部機器の連動動作は停止します。





使用方法



1 「ウーウーヒーヒー」火災警報器が作動しました 確認してください」と鳴ったときの処置のしかた

「ウーウーヒーヒー」火災警報器が作動しました。確認してください。
と警報し、火災警報ランプ(赤スライド)が点灯している場合、火災警報を意味しています。

1 警報器を丸型ベースにはめ込む。

電源ランプ(緑)が点滅し、警報器が監視状態に入る準備状態になります。



右方向に回す

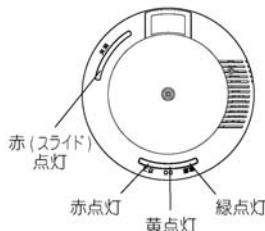
※丸型ベースには方向性がありますのでご注意願います。



緑点滅

2 電源を供給してから約1分後、ランプが全点灯した後、消灯します。

〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉
最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)



赤(スライド)
点灯

赤点灯

黄点灯

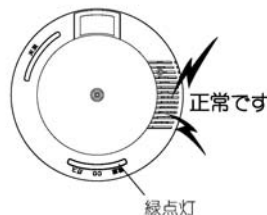
緑点灯

3 「正常です」と鳴って電源ランプ(緑)が点灯し、監視状態に入ります。

〈警報器が故障している場合〉

「正常です」とは鳴らずにP8に記載している故障発生時の動作となります。

※販売店までご連絡ください。



正常です

緑点灯

△ 危険

消火が不可能なときは、
避難する。



《お断わり》

●火災以外の熱などで火災警報を発している場合でも、ガス警報ランプ(赤)及びCO警報ランプ(黄)の点灯、点滅の有無を確認してください。

※火災警報を発している場合は、音声は火災警報が優先されるため、音声によるガス警報及びCO警報は発しません。

●ガス警報ランプ(赤)及びCO警報ランプ(黄)が点滅・点灯している場合は、P11～16の処置を行ってください。

〈火災以外の熱などで
火災警報を発しているとき〉

P17の処置をしてください。

1 火元の確認をする。



2 必要な手段をとる。

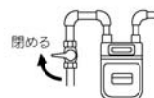
119番への通報



初期消火



天ぷら油から炎が出ているときは、
ガスメーター近くの
メーターガス栓を閉める。
メーターガス栓を開けるときは大阪
ガスにご連絡ください。



警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以下になると、
警報音が鳴りやみ、火災警報ランプ(赤スライド)が
消灯します。

警報器が作動したら



2 メロディー音が鳴っているときの処置のしかた

ガス警報ランプ(赤)が点滅し、メロディー音が流れている場合、ガス注意報を意味しています。

《お断わり》

外部機器と連動している場合、ガス注意報では外部機器は運動動作しません。



3 「ウーウーヒッヒッヒッヒッ ガスがもれていませんが」と鳴ったときの処置のしかた

「ウーウーヒッヒッヒッヒッ ガスがもれていませんが」と警報しガス警報ランプ(赤)が点灯している場合、ガス警報を意味しています。

警報音が鳴っている部屋にいたときは

△危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。



火気厳禁

換気扇、電灯、蛍光灯など電気製品のスイッチを入・切しない。



禁止



1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気続けると、ランプは消灯し、メロディー音は鳴りやみます。



2 原因を確認する。

ガス濃度がうすい場合に点滅します。
室内の空気の汚れにも反応することがあります。
(P18参照)

警報器を取り外さない。



禁止



4 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



部屋の外から警報音に気づいたときは

△危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。
爆発の恐れがあります。



禁止



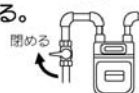
1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けているときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓を開けるときは大阪ガスにご連絡ください。



3 ガスがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、ガス警報ランプ(赤)の消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください

6 ガスもれの原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

最寄りの大阪ガスへ連絡する。

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)

※警報器とマイコンメーターを接続している場合

警報音声が 30 秒～60 秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。

※警報器と戸外ブザーを接続している場合

警報音声が 30 秒～60 秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。

ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

大阪ガス





4 CO警報ランプ(黄)が点滅している ときの処置のしかた

CO警報ランプ(黄)が点滅している場合、CO注意報を意味しています。

《お断わり》

●外部機器と連動している場合、CO注意報(黄ランプの点滅のみでありCO警報音が鳴っていない状態)では外部機器は運動動作しません。

※CO警報ランプ(黄)の点滅が約5分間継続すると、「ウーウー ヒッポッヒッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴りはじめます。

1 ドアや窓を開けて換気する。

しばらく換気続けると、ランプは消灯します。



2 原因を確認する。

CO濃度がうすい場合に点滅します。室内の空気の汚れにも反応することがあります。(P18参照)

5 「ウーウー ヒッポッヒッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と鳴ったときの処置のしかた



「ウーウー ヒッポッヒッポッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください」と警報し、CO警報ランプ(黄)が点滅または点灯している場合、CO警報を意味しています。

警報音が鳴っている部屋にいたときは

△ 危険

警報音が鳴ったら、すぐに換気をし、使用中のガス機器を止める。

CO濃度が上昇し短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。

1 ドアや窓を開けて換気する。



2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください

3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。 【CO警報ランプ(黄)消灯】



部屋の外から警報音に気づいたときは

△ 危険

警報音が鳴っている間は、部屋の外から、すぐに入室しない。CO濃度が濃くなっていることがあり、短時間で生命に危険が生じる恐れがあります。



禁止



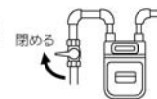
1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓を開けるときは大阪ガスにご連絡ください。



3 COがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、CO警報ランプ(黄)の消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください

処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合

警報音声 30秒～60秒間鳴り続けるとき、マイコンメーターがガスを止めます。

※警報器と戸外ブザーを接続している場合

警報音声 30秒～60秒間鳴り続けるとき、戸外ブザーが鳴ります。ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

最寄りの大阪ガスへ連絡する。





6 「ウーウービッビッビッガスがもれていませんか」と
「ウーウービッボッビッボッ 空気が汚れて危険です
窓を開けて換気してください」が交互に鳴ったときの処置のしかた

ガス警報とCO警報を交互に発し、ガス警報ランプ(赤)とCO警報ランプ(黄)が同時点灯している場合、ガス警報とCO警報の複合警報を意味します。

警報音が鳴っている部屋にいたときは

△危険

警報音が鳴っている間は、以下の内容を必ず守ってください。
爆発やCO中毒の恐れがあります。

マッチやライターなど、火気を使わない。



火気厳禁



換気扇、電灯、蛍光灯など、電気製品のスイッチを入・切しない。



禁止



警報器を取り外さない。



禁止



1 ドアや窓を開けて換気する。



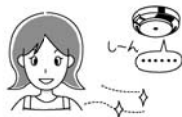
2 ガス機器の使用を中止し、ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください

3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

【ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)消灯】



4 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



部屋の外から警報音に気づいたときは

△危険

警報音が鳴っている間は、
部屋の外から、
すぐに入室しない。

爆発やCO中毒の恐れがあります。



禁止



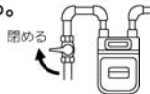
1 部屋に入らない。

室外からドアや窓を開けられるときは、ドアや窓を開けて換気する。



2 ガスメーター近くのメーターガス栓を閉める。

メーターガス栓を開けるときは大阪ガスにご連絡ください。



3 ガスやCOがなくなれば、警報音が鳴りやむ。

4 部屋に入り、ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)の消灯を確認する。

5 ガス栓や器具栓を閉める。



ガスコンセント接続の場合、ガスコンセントからソケットを外してください

6 ガスもれやCO発生の原因を点検する。

原因としては、煮こぼれ、ゴム管のはずれ、ゴム管の亀裂、ガス機器の立ち消えなどが考えられます。



処置をしても、警報音が鳴りやまないときは

おねがい

- たびたび警報音が鳴るときは、ガス機器の点検を受けてください。(有償)
- ガス機器以外の燃焼機器(石油ファンヒーター、石油ストーブなど)が原因で鳴ることもありますので、これらの機器についても点検を受けてください。

※警報器とマイコンメーターを接続している場合

警報音声が30秒～60秒間鳴り続けたとき、マイコンメーターがガスを止めます。

※警報器と戸外ブザーを接続している場合

警報音声で30秒～60秒間鳴り続けたとき、戸外ブザーが鳴ります。

ガスがなくなると同時に鳴りやみます。

最寄りの大阪ガスへ連絡する。

大阪ガス





7 異常がないのにメロディー音や警報音が鳴ったり、ランプが点滅したときの処置のしかた

ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れにより
ガス警報ランプ(赤)やCO警報ランプ(黄)が点滅したり、
メロディー音や警報音が鳴ったときは

〈メロディー音や警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押すと、

●ガス注意報のメロディー音は36時間止めることができ、ガス警報音は1回だけ5分間止めることができます。

●CO警報はCO警報ランプ(黄)が点滅しCO警報音が鳴っている場合のみ警報音を1回だけ5分間止めることができます。

※警報器周囲のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再びメロディー音またはガス警報音、CO警報音を発します。

※外部機器と連動していて、かつ警報器周辺のガスとCOが規定濃度以下になっていない場合、停止時間経過後に再び連動します。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2 警報器周囲のガスが規定濃度以下になると、ランプの点滅や警報音が鳴りやむ。

火災以外の熱で火災警報音が鳴ったときは

〈火災警報音を止めたいとき〉

警報停止スイッチを押してください。警報音が止まります。

●火災警報音を5分間止めることができます。

※警報器周囲の熱が規定温度(約65℃)以下になっていない場合は、5分後に再び火災警報を発します。5分後に再警報しても警報停止スイッチを再度押すことで警報音を止めることができます。

※外部機器と連動している場合、警報音停止中は外部機器の連動動作は停止します。停止時間経過後は再び外部機器の連動動作が開始されます。

1 ドアや窓を開け、しばらく換気を続ける。



2 警報器周囲の温度が規定温度(約65℃)以下になると、警報音が鳴りやむ。

警報音が鳴ったり、ランプが点滅した原因について

以下の原因が考えられますので、調べてください。

- 長い間閉め切られたお部屋や、高気密住宅などの換気回数が少ないお部屋に設置されている場合、ガスセンサの感度に影響を及ぼす室内の滞留成分(シリコーンや溶剤に含まれる揮発性成分、フロンガス[エアコンの冷媒ガスなど])の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。
- 建材などから発生する揮発性成分の作用により警報が鳴りやすくなることがあります。また、まれに鳴り続けることがあります。

〈ガス警報・CO警報〉

- スプレー式殺虫剤やヘアスプレーなどを、警報器にかけていませんか。
- タバコの煙を警報器に吹きかけていませんか。
- 芳香剤・香油(アロマオイル)などの濃いガスが警報器にかかっていますか。
- 線香の煙が警報器にかかっていますか。
- 溶剤、シンナー、ベンジンなどを大量に使用していませんか。
- アルコール類やくん煙式、くん蒸式の殺虫剤が高濃度になっていませんか。
- フローリングのワックス、溶剤を含む接着剤を使用していませんか。
- 長時間、部屋を閉め切っていませんか。
- 焼き魚の煙などが警報器にかかっていますか。
- みりんや酢などの調味料成分を含んだ蒸気が、警報器に大量にかかっていますか。
- 可燃性のガスなどを使用していませんか。
- 警報器の通常の電圧範囲はAC100V±10Vです。それ以外で使用していませんか。
- 換気が十分でない状態で、湯沸器を使用していませんか。
- ガスコンロの着火ミスがありませんか。
- 自動車の排気ガスが室内にこもっていませんか。
- 炭火や練炭を使用していませんか。
- 換気扇を回さずに大鍋(業務用)で湯を沸かしていませんか。点火初期時にCOが発生し、CO警報を発することがあります。

〈火災警報〉

- 調理中の熱がこもっていませんか。
- エアコンなどの空調機器の熱が直接警報器に当たっていませんか。
- 熱感知部が故障している可能性があります。



おねがい

- ガスもれやCO発生ではなく、空気の汚れなどにより、ガス警報ランプ(赤)・CO警報ランプ(黄)が点滅・点灯したり、メロディー音や警報音声が鳴る場合がありますが、すぐに鳴りやみますので警報器は取り外さないでください。

ランプ表示・音声出力の事象一覧表

表中の ○ はランプの点灯、⊙ はランプの点滅を表しています。

ランプ				音声内容	事象	対応方法
電源 (緑)	CO (黄)	ガス (赤)	火災 (赤/白)			
○ 点灯				なし	通常動作 (監視中)	—
○ 点灯		⊙ 点滅		メロディー音 (10 分毎に 2 回)	ガス注意報	P11 参照
○ 点灯		○ 点灯		ウーウー ビッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報	P11~12 参照
○ 点灯	⊙ 点滅			なし	CO 注意報	P13 参照
○ 点灯	⊙ 点滅			ウーウー ビッポツッポツ 空気が汚れて危険です 窓を開けて 換気してください	CO 警報	P13~14 参照
○ 点灯	⊙ 点滅	⊙ 点滅		メロディー音 (10 分毎に 2 回)	ガス注意報と CO 注意報	P11,13 参照
○ 点灯	⊙ 点滅	○ 点灯		ウーウー ビッピッピッピッ ガスがもれていませんか	ガス警報と CO 注意報	P11~12 参照
○ 点灯	⊙ 点滅	⊙ 点滅		ウーウー ビッポツッポツ 空気が汚れて危険です 窓を開けて 換気してください	CO 警報と ガス注意報	P13~14 参照
○ 点灯	⊙ 点滅	○ 点灯		ウーウー ビッピッピッピッ ガスがもれて いませんか/ ウーウー ビッポツッポツ 空気が汚れて 危険です 窓を開けて換気してください (交互)	ガス警報と CO 警報	P15~16 参照
⊙ 点滅				故障です 販売店に連絡してください (10 分毎) ビッピッ (1 分毎)	故障警報 (警報器が故障診断 機能により故障と判断した 状態)	販売店に 連絡して ください
○ 点灯				ビッピッ 有効期限が切れています 販売店に連絡してください (5 秒以上の警報停止スイッチ操作時)	有効期限切れ (警報器の有 効期限が半年以上過ぎた状 態)	販売店に 連絡して ください
○ 点灯			○ 点灯		火災警報	P10 参照
○ 点灯		⊙ 点滅	○ 点灯		火災警報と ガス注意報	
○ 点灯		○ 点灯	○ 点灯		火災警報と ガス警報	
○ 点灯	⊙ 点滅		○ 点灯		火災警報と CO 注意報または CO 警報	
○ 点灯	⊙ 点滅	⊙ 点滅	○ 点灯		火災警報と CO 注意報または CO 警報	
○ 点灯	⊙ 点滅	○ 点灯	○ 点灯		火災警報と CO 注意報または CO 警報	

※故障したときは、上記以外の表示音声を発する場合があります。この場合、販売店にご連絡ください。



お手入れのしかた

1 警報器を取り外す。(P21参照)

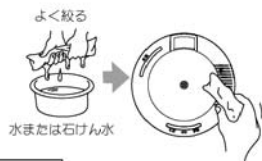
《お断り》

外部機器(インターホンなどの集中監視機器)と接続しているときは、警報器を取り外すと、外部機器で警報音(故障表示)が鳴ることがあります。

2 警報器及び取付部付近の天井面の汚れをふき取る。

●警報器表面・天井面

布を水または石けん水に浸し、よく絞ってか
らふき取ってください。



おねがい

●お手入れするときは、警報器の内部に水が入らないように注意してください。

●お手入れするときは、中性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤、ベンジン、シンナー、アルコールは使わないでください。
アルカリ性洗剤などを使うと、警報器本体の表面に傷がついたり、しばらくガス警報ランプ(赤)が点滅したり、警報音が鳴りやまないことがあります。

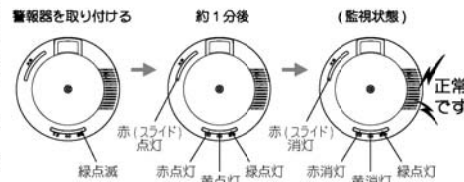


3 警報器を取り付ける。(P21参照)

●警報器の電源が入ります。

電源ランプ(緑)が点滅し、約1分後ランプが全点灯した後消灯し、正常であれば「正常です」と鳴って電源ランプ(緑)が点灯に変わり、警報器は監視状態に入ります。

異常があれば「故障です 販売店に連絡してください」と鳴りますので、警報器の交換をお願いします。



〈過去約10日以内に警報が作動した場合〉

電源を入れてから約1分後ランプが全点灯した後に、最後に作動した警報の原因に伴ったランプが、約1秒間点灯します。(鳴動原因表示機能によるものです。)

取り扱いかた



警報器の取り外し・取り付けかた

＜取り外しかた＞

警報器を左方向（反時計方向）に回して取り外す。

⚠ 注意

- 警報器の取り外しは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。



＜取り付けかた＞

1 警報器を丸型ベースに差し込む。

※丸型ベースは方向性がありますのでご注意ください。



2 警報器を右方向（時計方向）に回して取り付ける。

⚠ 注意

- 警報器本体を止める位置まで右に回し、確実に固定されているか確認してください。また、過度に回しすぎないように注意してください。
破損の原因になります。
- 警報器の取り付けは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。
転落、転倒、落下の原因になります。



噴霧式殺虫剤を使用するときは

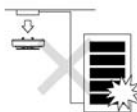
噴霧式殺虫剤の噴射ガスに反応して警報器が鳴る場合があります。次の処置を行っていただく、警報器が鳴り出すのを防ぐ効果があります。

⚠ 警告

噴霧式殺虫剤を使用した後は、必ず部屋の換気をし、ポリ袋を外してください。
警報器が作動しません。

警報器は取り外さないでください。

警報器の信号が外部機器と接続されている場合は、警報器を丸型ベースから取り外すと、外部機器で警報音（故障表示）が鳴ることがあります。



⚠ 注意

警報器へのポリ袋の取り付け・取り外しは、高いところでの作業になりますので、しっかりした踏み台を使って十分に注意して行ってください。

転落、転倒、落下の原因になります。



1 警報器をポリ袋に覆う

警報器を取り付けている部屋で噴霧式殺虫剤を使用するときは、警報器が噴射ガスに反応してガス警報音が鳴る恐れがありますので、必ず警報器に以下の処置をしてください。

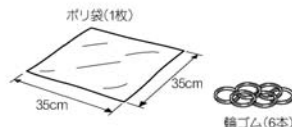
1. 天井面がベンキ塗装などの場合には、以下の手順で処置してください。

【準備するもの】

- ポリ袋（35cm × 35cm × 1枚）

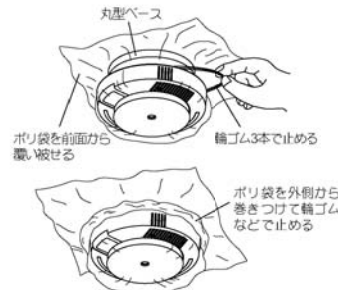
ポリプロピレン製（PP）または>PP<表示）が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。

- 輪ゴム（6本）



【処置のしかた】

- ①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、丸型ベース部分を輪ゴムで止めてください。
輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。
- ②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、輪ゴムで止めたポリ袋の上から丸型ベースに添って、ポリ袋を1周まきつけて、輪ゴムなど(3本程度)で止めてください。



2. 1の方法で処置できない場合は、以下の手順で処置してください。

【準備するもの】

●ポリ袋 (35 cm × 35 cm ・ 1 枚)

ポリプロピレン製 (PP) または >PP< 表示) が好ましいですが、ポリエチレン製でも一定の効果があります。

●輪ゴム (3本)

●接着テープ

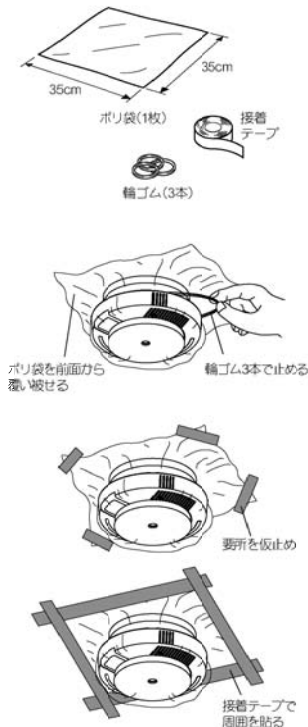
養生テープやメンディングテープなど、接着しやすく、また、剥がすときに天井面をいためないテープを選んでください。

【処置のしかた】

- ①ポリ袋を警報器の前面から覆い被せ、丸型ベース部分を輪ゴムで止めてください。
輪ゴムは1本では弱いので3本程度使用し、しっかり止めてください。

- ②ポリ袋と天井の隙間から噴射ガスが侵入するのを防ぐため、ポリ袋の端を接着テープで天井面に貼り付けてください。
要所をテープで仮止めしてから、周囲を貼ってください。ただし、天井面などの状況により貼り付けができない場合は、①のみの処置でも一定の効果はあります。

※ポリ袋と天井面の間に隙間ができないように、接着テープを貼ってください。特に、ポリ袋がしわになっている部分に注意してください。



2 噴霧式殺虫剤を噴霧する

以下のようなときは、ポリ袋で覆っていても警報音が鳴ることがあります。

噴霧式殺虫剤を使用するときは、事前に住宅管理者やご近所の方に、連絡しておいてください。

- 部屋の広さに比べて、極端に大きな容量の噴霧式殺虫剤を使用したとき。
- 必ず、部屋の広さに応じた容量の噴霧式殺虫剤をご使用ください。
- 噴霧式殺虫剤を警報器の真下で使用したとき。
- 警報器の真下は避けてください。
- ポリ袋と天井面の間に隙間があったり、ポリ袋に破れや穴があるとき。
- 警報器をポリ袋で覆う前に、石油系溶剤やアルコール類などを使用していたとき。
- ガス検知部に影響を与える成分が封じ込められます。
- 経年変化によって、ガス検知部が敏感になっているとき。



3 ポリ袋を取り外す

噴霧が終わり、換気した後、忘れずにポリ袋を取り外してください。

おねがい

接着テープを外すときは、天井面などを傷めないように慎重に行ってください。



取り扱いかた

取り扱いかた



点検方法について

日常の点検

日常、警報器の電源ランプ(緑)が点灯していることを確認してください。

※電源ランプ(緑)が消灯もしくは高速点滅している場合は、販売店に連絡してください。
(P26「故障かな?と思ったら」を参照ください。)



電源ランプ(緑)

外部機器との連動確認機能について

警告

- 点検時、決してライターなどの炎を使用しないでください。警報器の破損や火災の原因になります。
- 点検をするときは、必ず安定した台に乗って行ってください。転倒してけがをする恐れがあります。

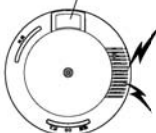
注意

- 外部機器(マイコンメーター、集中監視盤、インターホン等)が作動しますので、連動確認機能を操作される場合はご注意ください。
- マイコンメーターが作動した場合は、所定の復帰操作を行ってください。その他の外部機器が作動した場合は、外部機器の復帰操作を確認していただき、復帰操作を行ってください。

＜連動確認のしかた＞

- ①警報停止スイッチを5秒間押し続けてください。「ピッピッ」と開始音が鳴ります。(電源ランプ(緑)が点滅を開始)
- ②警報停止スイッチを離すと以下のように作動することを確認してください。(外部出力信号が1分間出力されます。有電圧は12Vと18Vが交互に出力されます。火災警報時の信号も同時に出力します。)

警報停止スイッチ



動作順	音声内容	ランプ				火災出力	有電圧出力 (12V/18V)
		電源(緑)	CO(黄)	ガス(赤)	火災(赤2灯)		
1	ウーウービービー 火災警報器が作動しました 確認してください	点滅			点灯	ON	ON
2	ウーウーピッピッピッピッ ガスがもれていません	点滅		点灯		ON	ON
3	ウーウーピッピッピッピッ 空気が汚れて危険です 窓を開けて換気してください	点滅	点灯			ON	ON
4	無音	点滅	点灯	点灯	点灯	ON	ON

- ③約1分後に「ビー」と終了音が鳴り、監視状態(電源ランプ(緑)点灯)に戻ります。
※1分以内に点検を終了したい場合は、警報停止スイッチを押すと、「ビー」と鳴り、即時に終了します。



故障かな?と思ったら

こんなときは

電源ランプ(緑)が消灯している。

警報器が正常にもかかわらず、外部機器が鳴る。

警報器が温かくなっている。

電源ランプ(緑)が高速点滅している。

火災、ガスもれ、COの発生ではないのに、赤ランプや黄ランプが点滅したり、警報音が鳴る。

電源を入れたときに、赤ランプや黄ランプが長く点灯する。

電源を入れたときや、警報停止スイッチを5秒以上押したときに「ピッピッ」有効期限が切れていきます。販売店に連絡してください」と鳴る。

ここを確認して

▶ 警報器が丸型ベースにしっかりとめ込まれていますか。

▶ 電源ブレーカーが切れていませんか。

▶ 停電していませんか。

▶ —

▶ 警報器の故障を知らせています。

▶ 原因を調べてください。(P18参照)

▶ ガス機器の異常が考えられます。

▶ ガス機器以外の燃焼機器の異常が考えられます。

▶ 10日以内に警報を発していませんか。

▶ 警報器の有効期限ラベルに記載されている有効期限が過ぎていませんか。

こう処置してください

▶ 警報器を丸型ベースにはめ込んでください。

▶ ブレーカーを入れてください。

▶ 停電でなければ、警報器の故障もしくは丸型ベース内部の断線、誤配線などが考えられますので、販売店に連絡してください。

▶ 通電により、センサ部を加熱しています。異常ではありません。

▶ 販売店に連絡してください。

▶ ドアや窓を開け、しばらく換気を続けてください。ランプの点滅や警報音が止まります。鳴りやまない場合は最寄りの大阪ガスへ連絡してください。

▶ ガス機器の点検を受けてください。(有償)

▶ それらの機器も点検を受けてください。

▶ 鳴動原因表示機能によるもので、故障ではありません。(P9参照)

▶ 有効期限が過ぎていれば、販売店に連絡してください。(P8参照)



アフターサービスについて

- この警報器は、5年間の無償保証付です。この取扱説明書に書かれている内容を守っていただいた上で警報器が正しく作動しないことが判明した場合には無償でお取り替えいたします。ただし保証書裏面「5」の項目に該当する場合は、この限りではありません。保証書をご参照ください。
- この警報器の有効期限は、ご使用開始後5年間です。
有効期限とは警報器の性能を保証できる期間であり、5年を経過したものは、規定のガス濃度で警報しないなど誤作動の恐れがありますので、ぜひ新しい警報器とお取り替えください。
- 「リース契約書」もしくは「警報器登録票」に販売店（リース取扱店）名の記入のないものは保証内容が無効となる場合がありますので、お取り付け時にご確認ください。
- アフターサービスについて、ご不明の点がありましたら、販売店（リース取扱店）または最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
- 警報器の有効期限が過ぎたときは、販売店（リース取扱店）または最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。
- 作動点検をご希望の場合には、有償にて点検いたします。
- 引越しやお部屋の模様替えなどで警報器を移動される場合は、販売店（リース取扱店）または最寄りの大阪ガスまでご連絡ください。



登録

この警報器は、コンピューターに登録して管理させていただきます。登録は、取り付け時もしくは開栓時に行い、登録済みの警報器の有効期限ラベルには有効期限が記入されていますので、ご確認ください。

また、有効期限の記入のないラベルは未登録の場合がありますので、販売店（リース取扱店）または最寄りの大阪ガスまでご確認ください。（保証書と有効期限ラベルの期日が異なる場合は、有効期限ラベルの期日が、この警報器の有効期限です。）

有効期限の約1カ月前に、登録されているものについては、当社よりお知らせします。有効期限が過ぎた場合は、新しいものとお取り替えください。



仕様

項 目		仕 様
型 番 (商 品 名)		(4)101-0204 型 (住宅用火災(熱式)・ガス・CO 警報器, 家庭用)
種 別		定温式住宅用火災警報器・ガス漏れ警報器
鑑 定 型 式 番 号		鑑定第24〜6号
検 知 原 理		半導体 (サーモスタ使用)
公 称 作 動 温 度		約65℃
外 部 出 力 信 号		警報時 a 接点 ON 無電圧 接点容量 (DC24V, 0.1A) 無極性
日本消防検定協会 住宅用火災警報器 鑑定合格品		
対 象 ガ ス		都市ガス (空気を軽い 12A・13A ガス用) 燃焼排ガス中のCO
検 知 方 式		半導体式
ガ ス 警 報 機 能 ・ C O 警 報 機 能	都 市 ガ ス	作 動 条 件 表 示 ・ 発 報 方 式 燃焼下境界濃度の 1/4 の都市ガスに対し 60 秒以内に警報 ガス警報ランプ(赤)点灯 音声合成警報音
		作 動 条 件 表 示 ・ 発 報 方 式 ガス警報濃度以下の都市ガスに対し注意報 ガス警報ランプ(赤)点滅 メロディー音
	C O 警 報	作 動 条 件 表 示 ・ 発 報 方 式 550ppm のCOに対し 5 分以内に警報 300ppm のCOに対し 10 分以内に警報 CO 警報ランプ(黄)点灯 音声合成警報音
		作 動 条 件 表 示 ・ 発 報 方 式 300ppm のCOに対し 5 分以内に注意報 CO 警報ランプ(黄)点滅 発報音無し
	外 部 出 力 信 号	有電圧出力 3段階有電圧2線式 (監視時 DC6V、電源OFF時・故障診断時 0V、ガス警報時 DC12V、CO警報時 DC18V)
		一般財団法人 日本ガス機器検査協会 (JIA) 都市ガス用ガス警報器検査規程 認証合格品
共 通 仕 様	警 報 音 量	70dB(A)/m以上
	電 源	AC100V±10V 50/60Hz
	消 費 電 力	監視時 約0.7W、警報時 約1.2W
	付 属 機 能	通電初期警報防止タイマー付、故障診断機能、有効期限お知らせ機能
	使 用 温 度 範 囲	0℃〜+40℃ (結露しないこと)
付 属 品	寸 法 ・ 質 量	φ120×34.5mm 約165g
		取扱説明書(保証書付) [本書] ×1 取付説明書 ×1

* 爆発は空気とガスの混合割合が一定範囲で起こる可能性があります。その範囲を爆発限界といいますが、最高濃度を爆発上限、最低濃度を爆発下限といいます。

* マイコンメーターと接続する場合は、別売の警報器アダプターが必要になります。

取付位置の確認

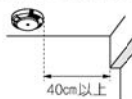
⚠ 注意

正しい取付位置に取り付けられていることを確認してください。

取り付けてはいけない場所に取り付けられていると、警報の遅れ、誤報、故障の原因となります。

〈正しい取付場所について〉

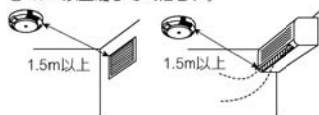
- ガス、COを検知しようとするガス機器を設置している場所と、同一の室内に取り付けてください。
- たれ壁やはりから40cm以上離してください。



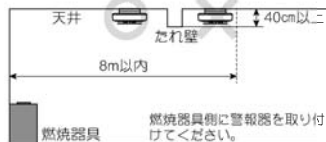
- ガスやCOが滞留しやすい位置で、電源ランプ(緑)の確認しやすい位置、点検が容易にできる場所へ取り付けてください。

- ガス、COを検知しようとするガス機器(一定位置に固定しないで使用されるガス機器の場合はガス栓)から、水平距離で8m以内に取付けてください。

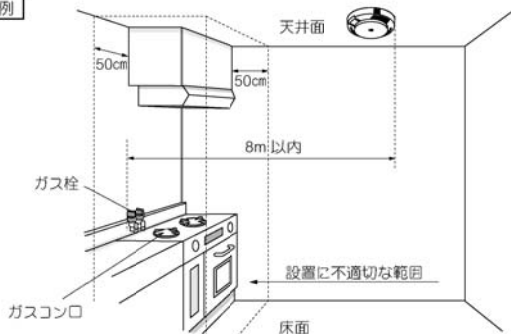
- 換気口やエアコンなど、空気の吹き出し口から1.5m以上離してください。



- 天井面が40cm以上の突出したたれ壁などによって区画される場合は、たれ壁より燃焼器具側に取付けてください。



取付例



※警報器の取り付けや取付位置の移動は、販売店におまかせください。

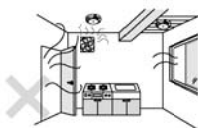
〈取り付けてはいけない場所について〉

以下の場所には、絶対に警報器を取り付けてください。

- 換気扇、給気口、ドア付近など風通しの良い場所。

- 隙間風の入る場所。

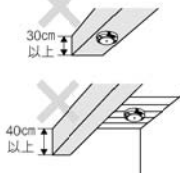
警報が遅れたり、検知できないことがあります。



- 30cm以上(警報器含)のたれ壁などの下。

- 40cm以上のたれ壁で区切られている場所。

警報が遅れたり、検知できないことがあります。



- 燃焼器具などの排気、湯気、油煙及び調理用アルコールの蒸気が直接かかる場所。

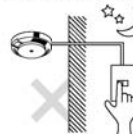
センサ寿命が短くなったり、誤報の原因になります。



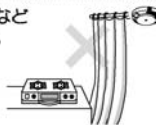
- ビルの給湯室など夜間電源を切る場所。

- 使用時でないとき電源を入れない場所。

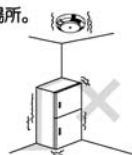
警報器としての機能を果たしません。



- カーテンウォールなどで仕切られた場所。
警報が遅れます。



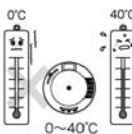
- 振動、衝撃の激しい場所。
センサ故障の原因になります。



- 浴室、水のかかる場所、水滴がつく場所。
感電や電気的故障の原因になります。



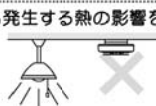
- 湿度が0~+40℃の範囲をこえる場所。
警報器としての機能を果たしません。また、誤作動の原因になります。



- 屋外。
屋外用ではありません。

- 業務用・工業用。
家庭用です。業務用・工業用ではありません。

- 照明器具などから発生する熱の影響を受ける場所。
センサ故障の原因になります。



- 食器棚などの上部。
警報が遅れます。



- ガス機器をご使用のときは、換気にご注意ください。
- お使いになった後は、器具栓だけではなくガス栓も必ず閉めてください。
- ゴム管は、良質の大阪ガス製♥マーク入りのものをお使いください。
そして、ガス栓についている赤線のところまで深くさし込み、必ずゴム管止めでとめてください。
- お使いにならないガス栓にはゴムキャップをはめてください。
- 古くなったゴム管はお取り替えください。

ガスもれ、CO発生の通報は…

〈行くよ24時間〉

大 阪 導 管 部
☎550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 ☎ ☎ 0120 (0) 19424

南 部 導 管 部
☎590-0973 堺市堺区住吉橋町2-2-19 ☎ ☎ 0120 (3) 19424

北 東 部 導 管 部
☎578-8502 東大阪市稲葉2-3-17 ☎ ☎ 0120 (5) 19424

兵 庫 導 管 部
☎650-0046 神戸市中央区港島中町4-5-3 ☎ ☎ 0120 (7) 19424

京 滋 導 管 部
☎600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93 ☎ ☎ 0120 (8) 19424

大阪ガスのお問い合わせ先

〈お客さまセンター〉

大阪リビング営業部
☎550-0023 大阪市西区千代崎3丁目南2-37 ☎ ☎ 0120 (0) 94817

南部リビング営業部
☎590-0973 堺市堺区住吉橋町2-2-19 ☎ ☎ 0120 (3) 94817

北東部リビング営業部
☎569-8569 高槻市藤の里町3-9-6 ☎ ☎ 0120 (5) 94817

兵庫リビング営業部
☎650-0044 神戸市中央区東川崎町1丁目8-2 ☎ ☎ 0120 (7) 94817

京滋リビング営業部
☎600-8815 京都市下京区中堂寺粟田町93 ☎ ☎ 0120 (8) 94817

- ※ お客さまセンターの受付時間は、平日9：00～19：00、日祝日9：00～17：00となっております。
- ※ お電話のおかけ間違いのないようお願いいたします。
- ※ 所在地・電話番号などは変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。

大 阪 ガ ス 株 式 会 社

この取扱説明書は、
再生紙を使用していま

[2012.12]

766831-6-101